

小林市議会「市民との意見交換会」地区別意見交換会【報告書】

開催地区	栗須小校区	担当班	議員名	担当
参加人数	33人（男性28人 女性5人）		高野 良文	司会進行
開催日	平成29年7月11日（火）		杉元 豊人	活動報告
開催時間	午後7時～午後8時20分		鎌田 豊数	記録・報告書作成
会場	いきいきコミュニティセンター		穴見 嘉宏	
その他			西上 隆	受付
		4班		

◎班代表者 杉元 豊人

意見交換会の内容		※□市民の意見	■議員の意見
統一テーマ	「地域交通について」・「空き家活用について」		
【意見交換の概要】 「地域交通について」 □病院に行くのに野尻地区内だけでなく小林地区方面にも福祉バスを運行してほしい。 ■福祉バスとコミュニティバスの接続の悪さなど同様の要望は聞いている。議会でも議論を深め、地域の意見を伝えていく。 □地域公共交通の予算など状況はどうなっているのか。 ■平成27年度に地域公共交通事業へ支出した総額は、約4,956万円。主なものとして路線バスに941万円、コミュニティバスに約1,475万円、福祉バスに721万円、スクールバスに806万円、須木の外出支援サービスに132万円、須木の温泉バスに3万円、福祉タクシーに878万円。野尻地区の福祉バスの利用状況は平成28年度1万625人となっている。 □市民からどういう要望があるのか。 ■乗りたい時間に乗れない、バス停が近くにないなどある。アンケートの内容等は平成29年3月に策定された、地域公共交通網形成計画書の中に示されている。 □このような様々な課題に対して議会としてどのように取り組むのか。 ■市民との意見交換会などで市民の意見・要望を集約し、議会全体で議論し行政に提案していく。 □運転免許返納者に対する特典はないのか。もっと運転免許を返納しやすい体制を作ってほしい。 ■返納証を提示すれば一年間コミュニティバスの料金が半額になる。状況を把握し、地域の意見を伝えていく。			

□交通弱者の視点に立って財政負担も考慮しながら必要な公共交通網を整備することが重要である。そうすることでまちの活性化や魅力づくりにつながるようにしてもらいたい。また、ふるさと納税を地域公共交通維持の原資にできないか。

■議会全体で議論を深めていきたい。

「空き家活用について」

□空き家を利用するなど、災害被災者の受け入れ体制はどうなっているか。

■空き家での被災者受け入れは行っていないが、ゆ〜ぱるのじりで熊本地震の被災者を受け入れたことはある。

□なぜ空き家が増えているのか。働く場所がないことが原因ではないのか。

■現在、若者が地元に残れるよう様々な取り組みを県・市は行っている。地元企業も雇用の拡大に努力している。議会としてもこのような取り組みを支援していきたい。

自由意見の交換

※□市民の意見 ■議員の意見

□三ヶ野山グラウンドに行く道路と国道との交差点付近が坂になっていることと、幅員が狭いということもあり危険である。利用者は多いため早く対策を考えてほしい。

■委員会審査を通して十分議論し、地域の意見を伝えていく。

□犬のふんの始末について広報してほしい。

■担当課に伝える。

□国道沿いのワイルドフラワーが植栽してあるところは草が伸びているが草刈りをしてもいいのか。

■土木事務所によると3年間はそのままにしておいてほしいとのことである。

□市の組織の再編成を行ったが、市はどう評価しているのか。

■市は事務事業について評価を行い公表している。

□観光DMOとはどういうものなのか説明してほしい。

■地域を巻き込んだ観光地づくりを進め、地域の稼ぐ力を引き出すための組織である。海外からも観光客を呼び込もうとしている。

□市職員の市営住宅の滞納問題に対して、どのように対応したのか。

■担当課に確認したところ、「滞納があるかないかなどについては個人情報保護の観点から開示できないが、滞納処分については誰であろうと区別なく適正に対処している。」という回答であった。

議会活動報告への意見

※□市民の意見 ■議員の意見

特になし